

高校での演奏会鑑賞や小学校での給食体験で 高齢者が地域の交流を深める

2013年7月17日、20人の高齢者が、東京都足立区にある都立足立東高等学校の校門をくぐった。父兄参観というわけではない。隣接する大谷田一丁目団地で暮らす高齢者が、足立東高等学校の演奏会に招かれたのだ。演奏会は吹奏楽部の生徒による楽器演奏だけでなく、和太鼓部による和太鼓も披露され、招かれた団地の居住者たちを楽しませた。

大谷一丁目団地では、高齢者が地域とのつながりを持てるように、自治会、ころつえシニア相談所、UR生活支援アドバイザーなどが協力して、さまざまな交流イベントを開催している。足立東高等学校の演奏会を鑑賞することもその一つだ。2013年10月には、隣接する足立区立中川東小学校で、児童と一緒に給食を楽しむイベントも開催した。自分たちが小学生だった時とは、様変わりした給食に、参加者たちは驚き、小学生との会話が弾んだ。

自治会長を務める中島省吾さんは「高齢者が孤立しないためには、地域とのつながりを持つことが大切です。また、高校生や小学生と触れ合えば、活力を分けてもらうことができます。核家族化が進んでいますから、今の子どもは高齢者と触れ合う機会が減っています。こうしたイベントは子どもにとってもいい経験になると思います」と意義を語った。



足立東高等学校で和太鼓を楽しむ



大谷一丁目団地に住む高齢者20人が高校生の楽器演奏を鑑賞した